

IV-29

都市部における高架道路の汚れの評価と対策に関する一考察

大阪市立大学工学部

学生員 ○森永 芳弘

大阪市立大学工学部

正会員 西村 昂

大阪市立大学工学部

正会員 日野 泰雄

阪神高速道路公団

正会員 徳永 法夫

1. はじめに

都市部では、土地の有効利用を図るため、高架道路の比率が高くなっており、都市景観にも大きな影響を及ぼしている。加えて、供用後の構造物の汚れは、景観評価を低下させる大きな要因になっていると思われる。そこで本研究では、都市高速道路の立地する大阪市内の19地区を抽出し、高架道路の汚れの評価について、沿道通行者に対してヒアリング調査を実施した。これらの分析から、汚れに対する意識を把握するとともに、その汚れが高架道路や都市の景観に及ぼす影響を探り、今後の汚れ対策検討の一助とすることを目的とした。

2. 意識調査の概要

(1) 調査地域の概要

カバーリングなど、高架道路の景観機能向上のための美装化、いわゆる景観整備を行っても、汚れによってその機能が損なわれるという問題が生じている。そこで本研究では、主として景観整備を行っている区間(14箇所)を対象としたが、景観整備地域と隣接する景観未整備地域を比較用として5箇所を選定し、合計19箇所において調査を行った。

(2) 調査方法

沿道利用者に対して、高架道路の印象や、実際に見える範囲での汚れについて質問した。高架道路沿道歩行者を対象としてヒアリング形式で行い、特定箇所に対する汚れの評価(意識)を調べるとともに、その箇所の汚れの写真を撮影し、定量的・定性的特性を調査票に記入することにした。

(3) データ属性

調査の回答者は全地域の合計で1098人であり、回答者の性別は、やや男性が多い結果となった。職業の比率は会社員が40%と多く、主婦、学生が各々約20%となっている。年齢構成は20代が約30%と少し多くなっているが、他の年齢はほぼ均等に分かれている。

3. 高架道路とその汚れの都市景観に対する影響

(1) 高架道路の評価

まず、高架道路の印象については、景観対策が行われている地域と、行われていない地域を比較すると、差は明らかで、「(やや)嫌い」と回答した人が、対策が行われている地域では40%程度なのに対して、対策が行われていない地域では、60%を越えている。印象の良い理由は、近代的であるという回答が多く、印象の悪い理由は、汚れているという回答が30%近くとなっている。このことから、高架道路の印象に汚れが大きく関係していることが分かる。

(2) 高架道路の汚れに対する意識

調査地点から高架道路を見て、付着している汚れが気になるかという質問については、景観対策の有無に関係なく、約60%の人が気になると答えている。このことは景観対策が行われていても、汚れがその効果を損なう危険性のあることを示唆していると言える。汚れが気になる場所(部位)については、橋脚と答えた人が一番多い(図-1)。景観対策は、遮音壁などに対して行われている場合が多いため、視点場に一番近く、対策の講じられていない橋脚の汚れが指摘されたものと考えられる。同様の理由から、高架裏面を指摘する回答も多い。また、汚れの内容に関しては、「汚れの色」と「汚れの形」を挙げた人が多かった(図-2)。

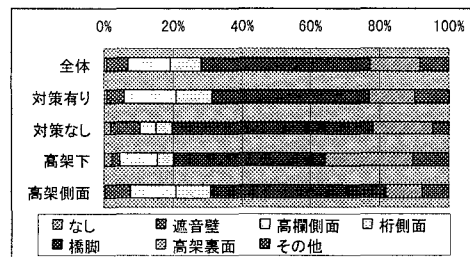


図-1 汚れが気になる部位

キーワード：高架道路 汚れ 都市景観 意識調査

〒558 大阪市住吉区杉本 3-3-138 TEL 06(605)2731 FAX 06(605)2731

〒541 大阪市中央区久太郎町 4-1-3 (大阪センタービル内) TEL 06(252)8121 FAX 06(252)4583

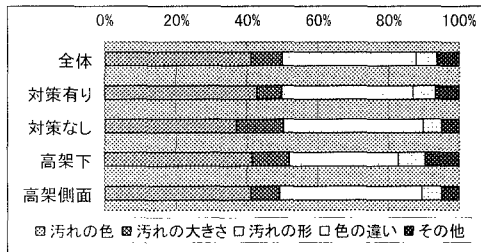


図-2 汚れの内容

さらに、その汚れを、「不快」「やや不快」と感じている人が半数にも達しており、汚れが周辺の人々に及ぼしている影響の大きさがうかがえる（図-3）。

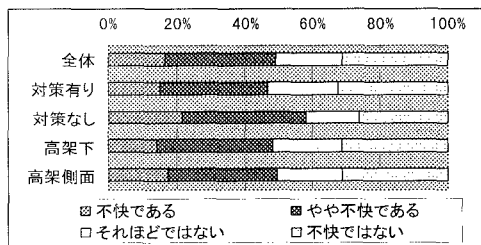


図-3 汚れに対する不快感

(3) 汚れによる高架道路イメージへの影響

汚れを取り除いたら、高架道路の印象は良くなると思うかの問いに対して、「(やや) 思う」と回答した人は約 70% に達しており、汚れへの対応が高架道路や都市のイメージの改善に寄与するものと考えられる（図-4）。

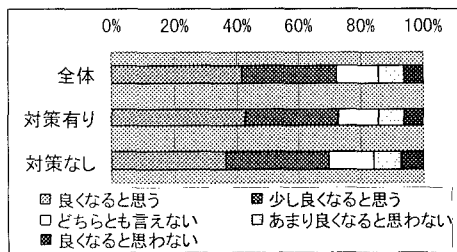


図-4 汚れ対策によるイメージ改善の可能性

そこで、汚れをなくすための方法を質問したところ、清掃や汚れの目立たない色にするといった方法に対する支持が多くなった（図-5）。景観対策が行われている地域では特に清掃を評価する割合が高いことから、小さな汚れが拡大し、景観対策全体に悪影響を及ぼすことが懸念されているとも考えられる。

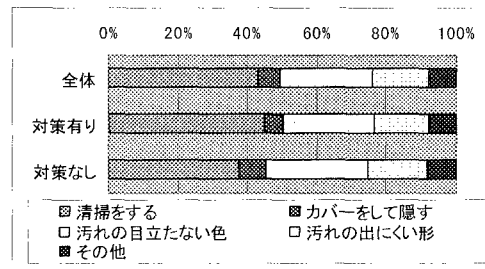


図-5 汚れ対策の評価

4. まとめと今後の課題

都市部において、高架道路は地域の印象を悪くする傾向にあるが、景観対策によってその評価を改善することが可能であることが分かった。また、高架道路のイメージに対する汚れの影響では、高架道路の印象が悪い理由に、汚れを挙げた人が半分近くおり、高架道路の印象に汚れが大きく関係していることが分かる。汚れていると感じる部位は、橋脚や高架裏面と、視点場に近く、目の届きやすい部分を挙げる人が多い。汚れ対策とそれによる地域イメージ改善の可能性については、汚れ対策により、高架道路のイメージが良くなると考える人は 70% 近くおり、汚れ対策の必要性が明らかとなった。その汚れ対策については、汚れはどうしても発生してしまうものなので、発生を防ぐための対策に関しては評価が低く、清掃に対する評価が高かった。以上のことから、効果的な清掃方法の検討が必要であると思われる。

今後も、都市部では高架道路は重要な役割を担っていくと思われるので、今後、都市との共存や都市の良好な景観形成を図ることが望まれ、そのためにも一層の景観対策、および汚れ対策が重要な課題となろう。

《参考文献》

- 1) 森永芳弘、日野泰雄、徳永法夫、是澤元博：都市部における高架道路の汚れの評価に関する一考察、平成 10 年度土木学会関西支部年次学術講演概要、1998.5（発表予定）